

2月4日に「国連を支える世界子ども未来会議 in KITA-ku」を開催しました

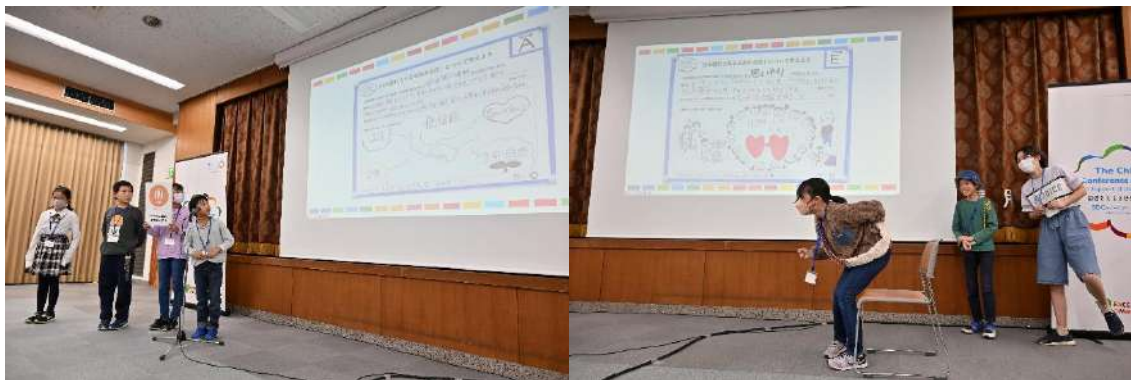


一般財団法人ピースコミュニケーション財団は、2月4日に北区の小学生を対象にした「国連を支える世界子ども未来会議 in KITA-ku」を北区・城北信用金庫本部会館大ホールにて開催しました。区内の小学生4年生から6年生までの21人が参加し「住み続けられる未来の北区」をテーマに意見を交わしました。

今回は、3～5人ずつ5つのグループに分かれてディスカッションをしました。子どもたちは日本電信電話株式会社が開発した、鼓動が伝わることで言葉を使わなくても“心”が伝わる「心臓ピクニック」や、「感謝」や「思いやり」といったキーワードが書かれた「わたしたちのウェルビーイングカード」を使って自己紹介をしました。瞬く間に打ち解け合い、「住み続けられる未来の北区」について一緒に考える仲間になった子どもたちは、グループワークで活発に意見を出しました。



発表では、さまざまなキーワードの中から「住み続けられる未来の北区に大切なこと」、「そのワードを選んだ理由」「そのために明日から自分は何ができるか」をプレゼンし、「大切なことはいろいろありますが、その根っことなる“価値観”が大事」といった根本的な考え方を模索したグループや、「外国の学校に通った経験から、日本に暮らす外国の子どもたちや孤立しがちな人を助ける北区ダイバーシティプロジェクトを立ち上げる」といった具体的なプロジェクト案を作成するグループまで、さまざまなアイデアがそろいました。



発表後には質疑応答も設けられ、大人の審査員だけでなく参加した他グループの子どもたちからも次々と鋭い質問がありました。「協調が大事だと思う。北区内の公民館や学校に行き、いろいろな人と話すという“来たく”なるスタンプラリーを小学生で企画します。全部集めると、しづさわくんのバッジをもらえます」というグループには「バッジなど、けっこうお金がかかると思うがどうしますか」という質問が上がり、「小学生が企画するので、小学生がイラストを描いて、それをプレゼントすることにします」と回答していました。子どもたち同士で、課題の指摘と改善案をやりとりする姿に審査員も感嘆しました。

今回、審査員は北区長のやまだ加奈子さん、北区教育長の清正浩靖さん、一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事の一木広治、一般財団法人ピースコミュニケーション財団理事を務め、前消費者庁長官の伊藤明子さん、認定 NPO 法人フェアトレード・ラベル・ジャパン事務局長の潮崎真惟子さん、進行は早稲田大学理工学術院教授の朝日透さんが務めました。



最優秀賞を受賞したのは、「外国の学校に通った経験から、日本で暮らす外国の子どもたちや孤立している児童と交流を持つ“北区ダイバーシティプロジェクト”を立ち上げます」と提案した B グループです。B グループはこの日の体験について、「自分たちで未来のことを考えられるのは楽しかった」「一人だけだと難しいけどみんなで意見を出し合って考えるとすごく進んだ」「学校でも環境のことを授業で習ったけど、ここまで具体的に考えたのは初めて」と笑顔で話し、今度は「平和な世界にするために、もっと具体的に考えてみたい」と意欲を見せていました。

また、急きょプレゼンテーション賞が設けられ、演劇形式で発表した E チームが受賞しました。

さらにこの日は、審査員の潮崎さんによる世界の SDGs への取り組みについての講義も実施しました。こどもたちが好きなチョコレートを題材に、ガーナの力カオ農家の子どもたちが児童労働によって学校に行けていない現状などを伝え、フェアトレードの意識をご紹介いただきました。

最優秀賞に選ばれたグループは、3月24日に都庁で行われる「第4回国連を支える世界こども未来会議」で今回をアイデアを発表していただきます。

◆国連を支える世界こども未来会議 in KITA-ku 開催概要

【イベントタイトル】国連を支える世界こども未来会議 in KITA-ku

【開催日時】2024年2月4日（日）

【開催場所】城北信用金庫本部会館 6階大ホール

【進行】朝日透（早稲田大学理工学術院教授）

【審査員】一木広治（一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事）／
伊藤明子（一般財団法人ピースコミュニケーション財団理事、前消費者庁長官）／
潮崎真惟子（認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン事務局長）／
やまだ加奈子（北区長）／清正浩靖（同区教育長）※敬称略

【主催】北区／一般財団法人ピースコミュニケーション財団

【協力】城北信用金庫／早稲田大学グローバル科学知融合研究所／
大阪大学大学院国際公共政策研究科 ESG インテグレーション研究教育センター

【事業賛同パートナー】日本電信電話会社

【後援】こども家庭庁／内閣官房国際博覧会推進本部／東京都